



引用：日本ホテル略史、77 ページ～78 ページ

東京商業會議所會頭中野武營「ホテル完備は戦後経営の急務なり」

.....

佛国が外客より得る所の金額は年々實に 80 億円を算すと、豈に驚くべき巨額に非ずや。余顧みて日本の風光を見るに山水の美観、風土の良好なると、東洋に於て比すべきものなく、到る處として耳目を楽しませしめざる無し。.....

明媚なる山水を賞し愉快に旅程を終えんとしたる珍客をして、此の如く失望せしむるは頗る遺憾の次第なるのみならず、之が為に失う我国の収入の亦少なからざるは更に憂うべきことに属せり、況んや彼らが口々に日本の設備の不完全なるを唱え、他の遊ぶ意を阻むあらば關係する所極めて大なるあるをや、.....